シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	業界理解Ⅲ		
必修選択	選択	（学則表記）	業界理解Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	ー		出版社	ー	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	自分が希望する就職先から内定を頂くために何が必要かを知る 社会人に必要な心構えやマナーを理解する 診療情報管理士認定試験に合格するために必要な勉強法について理解する		
到達目標	自分で就職活動の計画を立てることができる 自分にあった勉強方法を見つけ自学習できる状態になっている クラスメイトと協力しながら、就職活動・認定試験に取り組む姿勢がみられる		
評価基準	授業態度30％、就職課題40％、提出物30％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	業界理解Ⅱ/診療情報管理士受験対策ゼミA/診療情報管理士受験対策ゼミB/診療情報管理士受験対策ゼミC		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	南雲　沙綾	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	年間スケジュールを確認し、就職活動と認定試験の勉強スケジュールを立てる 1年間の目標を立てる。
2	就職活動（職種理解）	昨年度頂いた求人票を元に再度職種について説明する 雇用形態についても説明する。
3	就職活動（希望条件）	これから就職活動をする上で自分が譲れない条件について考える
4	卒業生ガイダンス	診療情報管理士科の卒業生から就職活動と認定試験の勉強の両立について説明する ※実施時期は各校判断
5	就職活動（自己PR①）	2年次の実習や研究発表会で経験した内容を踏まえて、“今の自分の強み”を考える
6	就職活動（自己PR②）	自己PRを完成・提出させる
7	就職活動（自己PR③）	完成した自己PRを元に自分の言葉で話せるように練習する（面接対策）
8	就職活動（志望動機①）	自分の考えや経験を踏まえて、志望動機を考える

9	就職活動（志望動機②）	志望動機を完成・提出させる
10	就職活動（志望動機③）	完成した志望動機を元に自分の言葉で話せるように練習する（面接対策）
11	就職活動（履歴書）	履歴書の書き方を再度確認をする
12	就職活動（面接練習②）	昨年度の受験報告書を元に面接練習をする
13	就職活動（面接練習③）	
14	模試フィードバック	８月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
15	模試フィードバック・前期振り返り 総まとめ	9月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる 初回授業で立てた目標から振り返り、後期に向けて再度スケジュールを調整する
16	医療機関ガイダンス	医療機関の職員から「働くこと」についてご講話頂く
17	模試フィードバック	10月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
18	社会人になる前の心構え①	社会人に求められる身だしなみ、言葉遣い、マナーについて学ぶ
19	社会人になる前の心構え②	名刺交換、正しい敬語の使い方、電話応対について学ぶ
20	社会人になる前の心構え③	上座・下座の位置（エレベーター・会議室・タクシー等）、メールについて学ぶ
21	模試フィードバック	11月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
22	社会人になる前の心構え④	実際にあった卒業生の事例をケーススタディとして対応策を考えていく
23	社会人になる前の心構え⑤	
24	社会人になる前の心構え⑥	
25	認定試験に向けて	冬休み前から本格的に勉強をした先輩の勉強法について紹介し、自分の勉強を見直す
26	模試フィードバック	12月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
27	冬休みに向けて	冬休みに計画的に勉強ができるように勉強スケジュールを立てる
28	模試フィードバック	1月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
29	模試フィードバック	直前模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
30	振り返りと今後の目標設定・総まとめ	3年間の学校生活を振り返り、社会人の目標を立てる

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医療概論		
必修選択	選択	（学則表記）	医療概論		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	診療情報管理Ⅰ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	医学と医療の歴史的変遷を知ったうえで、医療現状を理解する。 医療成立の原則と医の倫理に関して理解を深める。 社会保障制度の原則と実態を知り、関連法規の知識を得て医療の社会的役割を理解する。		
到達目標	医学の医療上の歴史や人物名や医学の進歩を理解し、習得する 「所得保障」「医療保障」「公衆衛生」「社会福祉」の原則を知り、説明できる。 医療成立の原則や倫理、歴史など医療について総合的に理解する。		
評価基準	確認テスト40％、小テスト30％、授業姿勢30％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	八木　正晴	実務経験	○
実務内容	昭和大学横浜市北部病院/救急診療科診療科長/2年 昭和大学病院/救命救急科診療科長補佐/3年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1.医学と医療	P3～P6 医学　医療の概念 科学としての医学/社会的医療
2	1.医学と医療	P6～P9　社会と医療 医学と医療の歴史（医学の起源～中世の医学）
3	1.医学と医療	P9～P12　医学と医療の歴史（近世の医学）
4	1.医学と医療	P12～P18　医学と医療の歴史（二十世紀の医学）
5	1.医学と医療	P18～P21　医学と医療の歴史（わが国の医学と医療の歴史）
6	1.医学と医療	P21～P26　医学と医療の歴史（現代医療）
7	確認テスト①	第6回までの内容から（1.医学と医療）

8	2.医の倫理	P27～P31　基本的な医療倫理規範 主な倫理綱領
9	3.脳死と臓器移植 4.診療情報提供	P32～P41　脳死、植物状態の定義、臓器移植 情報開示、個人情報の保護（OECD8原則）
10	確認テスト②	第9回までの内容から（1.医学と医療～4.診療情報提供）
11	5.社会保障制度 6.医療制度	P42～P50　年金、医療 医療保険、公費医療、後期高齢者医療制度と介護保険制度
12	7.医療関連法規 7.地域保健と公衆衛生	P51～P53　医療法と医療計画（施設法）、医師法（身分法） 地域保健と公衆衛生（地域保健の組織と活動）
13	8.包括医療（保健・医療・福祉）	P55～P61 予防医学の分類　　障害とリハビリテーション /健康増進法の概要 健康日本21（第1次、第2次）/がん対策基本法
14	総まとめテスト	第1回から第13回までの内容全て
15	振り返り・総まとめ	総まとめテストの内容の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	人体構造・機能論		
必修選択	選択	（学則表記）	人体構造・機能論		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	診療情報管理Ⅰ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	診療情報管理士に求められる人体構造および機能に関する基本的な医学的知識を理解する 認定試験の基礎分野で頻出される重要知識を習得する
到達目標	人体の構造や機能を説明することができる さまざまな病気を、人体の構造や機能の知識をもとに理解することができる 診療情報管理士認定試験の「人体構造・機能論」領域の問題を正確に解くことができる
評価基準	理解度テスト50％、小テスト30％、授業姿勢20％
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミA①にて3コマ実施。
担当教員	八木　正晴
実務経験	○
実務内容	昭和大学横浜市北部病院/救急診療科診療科長/2年 昭和大学病院/救命救急科診療科長補佐/3年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、本授業で学習する具体的な内容の説明、到達目標について
2	1.　細胞	細胞膜、核、細胞小器官について
3	2.　組織①	組織の発生と胚葉、神経組織、筋組織、上皮組織
4	2.　組織②	腺組織
5	2.　組織③	膜組織、結合組織、支持組織、血液、体液
6	3.　器官①	脳・脊髄
7	3.　器官②	顔と頸部、咀嚼

8	理解度テスト①	第2回～第7回のまとめと理解度テストの実施
9	4.　呼吸器の構造と機能 5.　循環器の構造と機能①	呼吸、呼吸運動 心臓の形態と構造
10	5.　循環器の構造と機能② 6.　消化器の構造と機能①	冠循環、血液の循環、心周期、心拍動と神経支配 食道、胃
11	6.　消化器の構造と機能②	十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜
12	7.　泌尿器系の構造と機能	腎臓の構造と機能、膀胱、生殖器系の構造
13	8.　上肢・下肢の骨と筋肉	上肢と下肢の骨および筋肉の構造、はたらき
14	理解度テスト②	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医学・医療用語		
必修選択	選択	（学則表記）	医学・医療用語		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	診療情報管理Ⅱ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	医療用語の成り立ち・接頭語・接尾語を理解する 各医療用語を習得する		
到達目標	医療現場で必要とされる医学・医療用語（英語）を覚える 医学・医療用語と解剖生理学の知識を関連付ける 接頭語や接尾語等、用語の構成要素を覚え、認定試験に出題される問題に対応できる力を身に付ける		
評価基準	小テスト30%、確認テスト40%、授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA/診療情報管理士受験対策ゼミB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミA①にて3コマ実施。		
担当教員	本間　篤	実務経験	○
実務内容	医療法人春明会みくに病院/薬剤師/1年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医学用語概論	造語の基本、主な接頭語、主な接尾語、用語についての基本的な考え方
2	用語集	1. 循環器
3	用語集	2. 呼吸器
4	用語集	3. 消化器
5	用語集	4. 泌尿器生殖器
6	用語集	5. 代謝、内分泌①

7	用語集	5. 代謝、内分泌②
8	用語集	6. 神経
9	用語集	7. 感覚器
10	用語集	8. 骨格系
11	用語集	9. 皮膚・感染・寄生虫
12	用語集	10. 精神医学
13	用語集	11. 乳腺 12. 妊娠・分娩・周産期
14	確認テスト	第1回～第13回で学習した内容に関する確認テストの実施
15	総まとめ	確認テストの内容の振り返り、総まとめ等

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）		
必修選択	選択	（学則表記）	医療統計Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	病院統計および疾病統計の知識を習得する 情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を学ぶ他、単なるテクニカルな面に終わることなく、データを扱う上での研究方法や倫理についての知識を習得する
到達目標	診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する 認定試験に必要な知識を習得する
評価基準	小テスト30％、確認テスト40％、授業姿勢30％
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミA①にて3コマ実施。
担当教員	霞堂　徳子
実務経験	○
実務内容	東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/7年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	7-1 データのグラフ表現 7-1-1 データの視覚化	グラフ表現の必要性、意義を理解する データを視覚化することの必要性を理解する
2	7-1-2　各種のグラフとその用途	棒グラフの特徴、作成方法について理解する ペアー棒グラフ、　ずらし棒グラフについても理解する
3	7-1-2　各種のグラフとその用途	円グラフまたはパイ図表の特徴を理解する 帯グラフ、百分率棒グラフの特徴を理解する
4	総まとめ	教科書P387～P394までの総まとめを行う
5	7-1-2　各種のグラフとその用途	折れ線グラフの特徴を理解させる 折れ線グラフの平滑化について理解させる
6	7-1-2　各種のグラフとその用途	クモの巣グラフの特徴を理解させる ヒストグラムの特徴を理解させる 散布図の特徴を理解させる

7	7-1-2　各種のグラフとその用途	箱ひげ図の特徴を理解させる ３次元グラフの特徴を理解させる
8	総まとめ	教科書P395～P401までの総まとめを行う
9	7-2 病院の統計資料 7-2-1　病院統計の作成とその意義 7-2-2　主な統計調査と評価指標 430-435	病院の統計資料の種類を理解する なぜ病院統計が必要なのか、その意義を理解する 主な統計調査と評価指標を理解する
10	7-2-3 主な医療評価指標	平均在院患者数、平均外来患者数、外来/入院比率について、意味や算出方法を理解する 平均在院日数について、２種類の違いとその算出方法を理解する
11	7-2-3 主な医療評価指標	平均病床利用率、病床回転率、死亡率（４種類）、剖検率について、意味や算出方法を理解する
12	7-2-3 主な医療評価指標 7-2-4　経営管理指標	対診率、再入院率、紹介率、悪性腫瘍の5年生存率について意味や算出方法を理解する
13	総まとめ	教科書P402-414までの総まとめを行う
14	7-3 臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針 7-3-1　コホート研究と症例対照研究 427-429	医学系の研究手法やその概要について理解する コホート研究の2種類の手法について理解する
15	7-3-2 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	医学系研究に関する指針について理解する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	診療情報管理Ⅲ（ＤＰＣ・医師事務作業補助者・がん登録の実務）		
必修選択	必修	（学則表記）	診療情報管理Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	診療情報管理Ⅳ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	DPC制度での実務に必要な知識を習得する 医師事務作業補助者の仕事内容・施設基準の知識を習得する がん登録の概要について理解する
到達目標	診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する 認定試験に必要な知識を習得する
評価基準	小テスト30％、確認テスト40％、授業姿勢30％
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミA①にて3コマ実施。
担当教員	霞堂　徳子
実務経験	○
実務内容	東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/7年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	10-1　DPC制度と実務	DPCと診療情報管理士（診療情報管理部門）との関わり 影響調査（基礎調査）と診療情報管理士
2		DPCと影響調査（基礎調査）
3		DPC対象病院としての基本的な基準 診療情報管理士に対する評価
4		データ提出加算 病院情報の公表と診療情報管理士
5		データ精度と診療情報管理士
6		DPCデータの活用について理解する
7	10-2　医師事務作業補助業務について	医師事務作業補助者の業務内容/医師事務作業補助者の業務と体制 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
8	10-3　がん登録の業務	わが国のがん対策とがん登録 がん登録の種類

9	問題集①	問題集10-1～10-6の演習を行う
10	問題集②	問題集10-7～10-113の演習を行う
11	問題集③	問題集10-7～10-113の演習を行う
12	問題集④	問題集10-21～10-29の演習を行う
13	問題集⑤	問題集10-30～10-38の演習を行う
14	確認テスト	確認テスト
15	振り返り	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミA①（基礎分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミA①		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	90
使用教材	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う
到達目標	診療情報管理士認定試験（基礎領域）に合格する 基礎領域のさまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる 誤っている箇所に関し、正確な知識をもとに正しく修正し、説明することができる
評価基準	前期：理解度テスト50％、小テスト30％、授業態度20％ 後期：模擬試験50％、演習テスト30％、授業態度20％
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA②（基礎分野）/基礎科目1～12章/診療情報管理士対策
備考	3年前期に認定科目（1・2・12章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	本間　篤
実務経験	○
実務内容	医療法人春明会みくに病院/薬剤師/1年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3章　臨床医学総論 （外傷学、先天異常等含む）	授業の進め方、到達目標、成績評価について 健康と病気、先天奇形・変形及び染色体異常、損傷・中毒・その他の外因の影響
2	4章　臨床医学各論Ⅰ （感染症および寄生虫症）	感染症及び寄生虫症 （細菌、ウイルス、その他の微生物や原虫等を原因とする伝染性疾患について）
3	5章　臨床医学各論Ⅱ （新生物）	新生物 悪性新生物および良性新生物
4	6章　臨床医学各論Ⅲ （血液・代謝・内分泌等）	血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害 内分泌、栄養及び代謝疾患
5	7章　臨床医学各論Ⅳ （精神・脳神経・感覚器等）	精神および行動の障害、神経系の疾患 眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患
6	8章　臨床医学各論Ⅴ （循環器・呼吸器系）	循環器系の疾患 呼吸器系の疾患
7	第1回～第6回までのまとめ	これまでの振り返り 3～8章の理解度テスト

8	9章　臨床医学各論Ⅵ （消化器・泌尿器系）	消化器系の疾患 腎尿路生殖器系の疾患
9	10章　臨床医学各論Ⅶ （周産期系）	妊娠、分娩および産褥 周産期に発生した病態
10	11章　臨床医学各論Ⅷ （皮膚・筋骨格系統）	皮膚および皮下組織の疾患 筋骨格系
11	1章　医療概論	医療概論 （医学と医療、医の倫理、診療情報提供、社会保障制度、関連法規など）
12	2章　人体構造・機能論	人体の構造 （細胞、組織、器官および各系の構造と機能について）
13	医学用語	医学用語（接頭語と接尾語、用語の基本的な考え方、各用語集について） 医療用語
14	第8回～第13回までのまとめ	これまでの振り返り 9～11章、1～2章および医学用語の理解度テスト
15	前期の総まとめ	基礎領域（医学用語含む）の総復習
16	演習 （1-2章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
17	演習 （3-4章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
18	演習 （5-6章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
19	演習 （7-8章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
20	演習 （9-10章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
21	演習 （11章および医学用語）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
22	演習 （全範囲）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
23		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
24		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
25		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
26		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
27		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
28	直前演習	認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
29		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
30		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミA②（基礎分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミ A②		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	105
使用教材	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う
到達目標	診療情報管理士認定試験（基礎領域）に合格する 基礎領域のさまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる 誤っている箇所に関し、正確な知識をもとに正しく修正し、説明することができる
評価基準	前期：理解度テスト50％、小テスト30％、授業態度20％ 後期：模擬試験50％、演習テスト30％、授業態度20％
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA①（基礎分野）/基礎科目1～12章/診療情報管理士対策
備考	3年前期に認定科目（1・2・12章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	本間　篤
実務経験	○
実務内容	医療法人春明会みくに病院/薬剤師/1年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3章　臨床医学総論 （外傷学、先天異常等含む）	授業の進め方、到達目標、成績評価について 健康と病気、先天奇形・変形及び染色体異常、損傷・中毒・その他の外因の影響
2	4章　臨床医学各論Ⅰ （感染症および寄生虫症）	感染症及び寄生虫症 （細菌、ウイルス、その他の微生物や原虫等を原因とする伝染性疾患について）
3	5章　臨床医学各論Ⅱ （新生物）	新生物 悪性新生物および良性新生物
4	6章　臨床医学各論Ⅲ （血液・代謝・内分泌等）	血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害 内分泌、栄養及び代謝疾患
5	7章　臨床医学各論Ⅳ （精神・脳神経・感覚器等）	精神および行動の障害、神経系の疾患 眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患
6	8章　臨床医学各論Ⅴ （循環器・呼吸器系）	循環器系の疾患 呼吸器系の疾患
7	第1回～第6回までのまとめ	これまでの振り返り 3～8章の理解度テスト

8	9章　臨床医学各論Ⅵ （消化器・泌尿器系）	消化器系の疾患 腎尿路生殖器系の疾患
9	10章　臨床医学各論Ⅶ （周産期系）	妊娠、分娩および産褥 周産期に発生した病態
10	11章　臨床医学各論Ⅷ （皮膚・筋骨格系統）	皮膚および皮下組織の疾患 筋骨格系
11	1章　医療概論	医療概論 （医学と医療、医の倫理、診療情報提供、社会保障制度、関連法規など）
12	2章　人体構造・機能論	人体の構造 （細胞、組織、器官および各系の構造と機能について）
13	医学用語	医学用語（接頭語と接尾語、用語の基本的な考え方、各用語集について） 医療用語
14	第8回～第13回までのまとめ	これまでの振り返り 9～11章、1～2章および医学用語の理解度テスト
15	前期の総まとめ	基礎領域（医学用語含む）の総復習
16	演習 （1-2章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
17	演習 （3-4章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
18	演習 （5-6章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
19	演習 （7-8章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
20	演習 （9-10章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
21	演習 （11章および医学用語）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
22	演習 （全範囲）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
23		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
24		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
25		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
26		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
27		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
28	直前演習	認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
29		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
30		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミB①（専門分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミ B①		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	90
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	専門分野（分類以外）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける
評価基準	前期：テスト50％、小テスト30％、授業態度20％ 後期：模試の結果50％、小テスト30％、授業態度20％
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミB②（専門分野）/専門科目1～10章
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	霞堂　徳子　他１名
実務経験	○
実務内容	東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/7年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1章　医療管理総論	医療資源、日本医療制度、医療の需要と供給、地域医療（医療供給体制）、医療関連の法規定
2	2章　医療管理各論Ⅰ	病院の経営管理、医療管理、チーム医療
3	3章　医療管理各論Ⅱ	医療保険制度、わが国の診療群分類、介護保険制度の概要
4	小テスト・復習	小テスト・復習（1～3章）
5	4章　医療管理各論Ⅲ	安全管理（セーフティマネジメント）、医療の質管理、診療情報管理における診療報酬請求データの活用
6	5章　保健医療情報学	保健医療情報学（Health Informatics）/医療情報の特徴と種類/行政が進める保健医療の情報化政策/医療情報システム/診療情報の二次利用/個人が管理する保健医療記録/医療情報の標準化/情報セキュリティ/保健医療の情報化のこれから
7	小テスト・復習	小テスト・復習（4・5章）

8	6章　医療統計Ⅰ	統計的方法/データの要約（記述統計学の方法）/統計学的推測の基礎/統計的仮説検定/仮説検定にともなう2種類の誤り/よく使う検定手法/2つの量的変数の関係
9	7章　医療統計Ⅱ	データのグラフ表現、病院の統計資料、臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針
10	小テスト・復習	小テスト・復習（6～8章）
11	8章　診療情報管理Ⅰ	診療情報管理の意義と役割、診療情報管理と法規等、診療記録の記載方式、診療情報の記載
12	9章　診療情報管理Ⅱ	診療情報管理士について、診療情報管理士に求められる資質、診療情報管理士の基本業務、個人情報保護の視点からの保管管理、紙カルテの運用における診療情報管理、電子カルテ運用における診療情報管理、診療情報の提供等に関する指針、診療情報管理士による改善への取り組み、診療情報管理士の活動組織
13	10章　診療情報管理Ⅲ	DPC制度と実務、医師事務作業補助者業務、がん登録の実務について
14	小テスト・復習	小テスト・復習（9・10章）
15	テスト・総復習	テスト・総復習（1～10章）
16	1～10章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
17		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
18		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
19		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
20		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
21		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
22		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
23		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
24		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
25		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
26		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
27		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
28		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
29		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
30		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミB②（専門分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミ B②		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	105
使用教材	診療情報管理Ⅲ・Ⅳ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	専門分野（分類以外）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける
評価基準	前期：テスト５０%、小テスト３０%、授業態度20% 後期：模試の結果50%、小テスト30%、授業態度20%
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミB①（専門分野）/専門科目1～10章
備考	3年前期に認定科目（7・10章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	霞堂　徳子
実務経験	○
実務内容	東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/ 7年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1章　医療管理総論	医療資源/日本医療制度/医療の需要と供給/地域医療（医療供給体制）/医療関連の法規定 小テスト（1章）
2	2章　医療管理各論Ⅰ	病院の経営管理/医療管理/チーム医療 小テスト（2章）
3	3章　医療管理各論Ⅱ	医療保険制度/わが国の診療群分類/介護保険制度の概要 小テスト（3章）
4	復習・テスト	復習（1～3章） テスト（1～3章）
5	4章　医療管理各論Ⅲ	安全管理（セーフティマネジメント）/医療の質管理/診療情報管理における診療報酬請求データの活用 小テスト（4章）
6	5章　保健医療情報学	保健医療情報学（Health Informatics）/医療情報の特徴と種類/行政が進める保健医療の情報化政策/医療情報システム/診療情報の二次利用/個人が管理する保健医療記録/医療情報の標準化/情報セキュリティ/保健医療の情報化のこれから 小テスト（5章）
7	復習・テスト	復習（4・5章） テスト（4・5章）

8	6章　医療統計Ⅰ	統計的方法/データの要約（記述統計学の方法）/統計学的推測の基礎/統計的仮説検定/ 仮説検定にともなう2種類の誤り/よく使う検定手法/2つの量的変数の関係 小テスト（6章）
9	7章　医療統計Ⅱ	データのグラフ表現/病院の統計資料/臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針 小テスト（7章）
10	復習・テスト	復習（6・7章） テスト（6・7章）
11	8章　診療情報管理Ⅰ	診療情報管理の意義と役割/診療情報管理と法規等/診療記録の記載方式/診療情報の記載 小テスト（8章）
12	9章　診療情報管理Ⅱ	診療情報管理士について/診療情報管理士に求められる資質/診療情報管理士の基本業務/ 個人情報保護の視点からの保管管理/紙カルテの運用における診療情報管理/電子カルテ運用における診療情報管理/診療情報の提供等に関する指針/診療情報管理士による改善への取り組み/診療情報管理士の活動組織 小テスト（9章）
13	10章　診療情報管理Ⅲ	DPC制度と実務/医師事務作業補助者業務/がん登録の実務について/レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について 小テスト（10章）
14	復習・テスト	復習（8・9・10章） テスト（8・9・10章）
15	テスト・総復習	テスト・総復習（1～10章）
16	1～12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
17		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
18		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
19		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
20		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
21		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
22		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
23		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
24		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
25		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
26		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
27		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
28		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
29	1～12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
30		小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミＣ（分類分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミＣ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	90
使用教材	診療情報管理Ⅳ ICD-10		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	専門分野（分類）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける
評価基準	前期：テスト50％、小テスト30％、授業態度20％ 後期：模試の結果50％、小テスト30％、授業態度20％
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	診療情報管理士
関連科目	専門科目11・12章
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	霞堂　徳子
実務経験	○
実務内容	東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/7年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	11章　国際統計分類Ⅰ	11-1-1　わが国の人口動態統計
2		11-1-2　国際疾病分類（ICD）の歴史 11-1-3　国際疾病分類（ICD）の現状
3		11-1-4　国際疾病分類（ICD）構造 小テスト・復習（11-1）
4		11-2-1　国際統計分類ファミリー（WHO-FIC）の概念と構想 11-2-2　1.国際生活機能分類（ICF） 11-2-2　2.国際疾病分類-腫瘍学（ICD-O）
5		小テスト・復習（11-2） 11-3-1　原死因選択ルール 11-3-2　主要病態のコーディングと再選択ルール
6		11-3-3　ICDを用いるうえでの注意点 小テスト・復習（11-3） テスト（11章）

7	12章　国際統計分類Ⅱ	12-1-1　コーディングをはじめるにあたって 12-1-2　ICD-10（2013年版）準拠の概説 12-1-3　「国際疾病分類（ICD）」編さんの基準とその特徴 12-1-4　「内容例示表」と「索引表」の使用方法 12-1-5　複数病態分類、複合病態分類及び二重分類
8		12-1-6　「内容例示表」及び「索引表」で用いられている表示記号と符号 12-1-8　傷病名のコード索引方法の解説 12-1-9　コーディング支援ソフトウェアの利用 12-1-7　用語の定義及び傷病名の構成 小テスト・復習（12-1）
9		12-2-1　第Ⅰ章　感染症及び寄生虫症（A00-B99） 12-2-2　第Ⅱ章　新生物＜腫瘍＞（C00-D48） 12-2-3　第Ⅲ章　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50-D89）
10		12-2-4　第Ⅳ章　内分泌、栄養及び代謝疾患（E00-E90） 12-2-5　第Ⅴ章　精神及び行動の障害（F00-F99） 12-2-6　第Ⅵ章　神経系の疾患（G00-G99） 12-2-7　第Ⅶ章　眼及び付属器の疾患（H00-H59） 12-2-8　第Ⅷ章　耳及び乳様突起の疾患（H60-H95）
11		12-2-9　第Ⅸ章　循環器系の疾患（I00-I99） 12-2-10　第Ⅹ章　呼吸器系の疾患（J00-J99） 12-2-11　第Ⅺ章　消化器系の疾患（K00-K93）
12		小テスト・復習（12-2-1～12-2-11） 12-2-12　第Ⅻ章　皮膚及び皮下組織の疾患（L00-L99） 12-2-13　第ⅩⅢ章　筋骨格系及び結合組織の疾患（M00-M99） 12-2-14　第ⅩⅣ章　腎尿路生殖器系の疾患（N00-N99）
13		12-2-15　第ⅩⅤ章　妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞（O00-O99） 12-2-16　第ⅩⅥ章　周産期に発生した病態（P00-P96） 12-2-17　第ⅩⅦ章　先天奇形、変形及び染色体異常（Q00-Q99） 12-2-18　第ⅩⅧ章　症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00-R99）
14		12-2-19　第ⅩⅨ章　損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00-T98） 12-2-20　第ⅩⅩ章　傷病及び死亡の外因（V01-Y98） 12-2-21　第ⅩⅪ章　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用（Z00-Z99）
15		12-2-22　原死因コーディング 小テスト・復習（12-2-12～12-2-22） テスト（12章）
16	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
17	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
18	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
19	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
20	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
21	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
22	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく

23	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
24	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
25	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
26	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
27	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
28	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
29	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく
30	11・12章演習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒グループで答え合わせ⇒ アウトプットを行い知識を定着していく

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン実習Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン実習Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	Access　クイックマスター		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	Accessの基本操作を身に着ける Access操作を通して、データベースの考え方、重要性を理解する
到達目標	簡素化した「簡易データベース」を作成することができる 必要なフォームを考案し、データ全体の設計を行う事ができる
評価基準	テスト40%、課題提出40%、授業態度20%
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	江藤　菜月	実務経験	○
実務内容	株式会社テレウェイブリンクス/営業事務/2年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	データベースについて ＡＣＣＥＳＳのしくみ	Excelとの違い、Accessの機能について
2	基本操作	起動・終了、ウインドウ構成、オブジェクトの種類について
3	データベースファイルの作成	「商品管理」ＤＢ構成と作成手順について
4	テーブルの設計①	概要テーブルについて 自動保存等の作成注意事項について
5	テーブルの設計②	テーブルのビュー・構成・新規作成について
6	テーブルの設計③	フィールド定義・主キーについて
7	テーブルの設計④	データ入力・インポートについて練習問題実施
8	クエリの設計①	概要　クエリについて 構成・表示方法について

9	クエリの設計②	選択クエリ新規作成・並べ替え・抽出について
10	クエリの設計③	練習問題実施
11	フォームの設計①	レイアウトの種類について
12	フォームの設計②	ウィザード・オートフォーマットについて
13	フォームの設計③	プロパティ・ＩＭＥ切り替えについて
14	テスト	テスト実施
15	これまでの復習	１回～１５回の内容復習
16	レポートの設計①	概要　レポートについて 種類について
17	レポートの設計②	新規作成・編集について ウィザードについて
18	レポートの設計③	練習問題実施
19	リレーションシップ①	種類・参照整合性について
20	リレーションシップ②	テーブルの結合について
21	リレーションシップ③	練習問題を実施する
22	マクロ①	概要　マクロについて
23	マクロ②	練習問題を実施する
24	データベースの設計①	簡易データベースの作成－１について 入力順の設定について
25	データベースの設計②	簡易データベースの作成－２について パラメータークエリについて
26	データベースの設計③	簡易データベースの作成－３について アクションクエリについて
27	データベースの設計④	簡易データベースの作成－４について コマンドボタンについて
28	データベースの設計⑤	簡易データベースの作成－４について AUTOEXECについて
29	テスト実施	テスト実施
30	これまでの復習	１６回～３０回の内容復習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医事業務実践アドバンスⅡA　（受付・会計・請求）		
必修選択	選択	（学則表記）	医事業務実践アドバンスⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	30
使用教材	医療事務実践対応ハンドブック		出版社	医学通信社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	現場に出たとき即戦力となるために必要な知識、技術を習得する		
到達目標	ＤＰＣ、自賠責、労災、高額・保険外併用療養費など様々な対応のポイントを述べることができる		
評価基準	発表・実践40%、期末テスト30%、授業態度20%、小テスト10%		
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	医科医療事務Ⅲ/医事業務実践アドバンスⅡＢ/医事業務実践アドバンスⅡＣ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡邊　真由美	実務経験	○
実務内容	東京女子医科大学第二病院/医療事務/1年6カ月 しながわこどもクリニック/受付・会計/8年 セントラルフィットネス藤沢/受付会計/1年 げんき鍼灸接骨院/受付・会計/5年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	実習の振り返り　就職先で求められる人材とは
2	受付対応① (1年次ベーシックⅠA復習)	外来窓口初再診の流れ　病院とクリニックの違い
3	受付対応②感染症	感染症の対応と注意事項
4	受付対応③医療証	医療証の内容確認　ひとり親・乳児・小児・特定疾患など
5	受付対応④ 後期高齢者　生活保護	後期高齢者の保険証について 生保の医療券の確認
6	受付対応⑤労災・自賠 小テスト	手続きと必要書類について
7	受付対応 シミュレーションまとめ	今までのシミュレーション実践
8	シミュレーション実践テスト	今までのシミュレーション実践

9	会計対応①	領収証・明細書の交付について
10	会計対応②	患者呼び出し・金銭の受理の仕方 未収金について
11	会計対応確認	会計対応の確認
12	ＤＰＣ制度の説明①	出来高払いとの違い
13	ＤＰＣ制度の説明②	窓口説明
14	期末テスト	【受付・会計・DPC】期末テストの実施
15	前期総まとめ	前期の振り返りとまとめ
16	受付対応　入院①	入退院窓口業務　入院証明書について
17	受付対応　入院②	病棟クラーク業務について
18	受付対応③	高額療養費・保険外併用について
19	受付対応④ 療養費・各種書類	現物・現金給付・文書料・診断書・証明書について
20	受付対応⑤　保険外診療 小テスト	健康診断・予防接種などの対応小テスト（受付対応）
21	受診科について　（病院）	初診時の受診料について
22	まとめ：受付対応	今までのシミュレーション実践
23	実践対応Ｑ＆Ａ①	保険資格について
24	実践対応Ｑ＆Ａ②	患者クレーム　外国人保険診療について
25	実践対応Ｑ＆Ａ③	医療費控除・診療報酬請求・再審請求について
26	実践対応Ｑ＆Ａ④	公費負担医療制度について
27	シミュレーション実践テスト	今までのシミュレーション実践
28	シミュレーション実践振り返り	今までのシミュレーション実践
29	期末テスト	期末テストの実施
30	総まとめ	1年間のまとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医事業務実践アドバンスⅡB（医療コンシェルジュ）		
必修選択	選択	（学則表記）	医事業務実践アドバンスⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	30
使用教材	改訂版　患者接遇マナー基本テキスト		出版社	日本能率協会マネジメントセンター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	現場に出たとき即戦力となるために必要な知識、技術を習得する
到達目標	医療現場で求められる患者様対応を臨機応変に実践できる 学んだビジネスマナー全般を実践できる
評価基準	発表・実践40%、期末テスト30%、授業態度20%、小テスト10%
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	サービス接遇実務検定/秘書技能検定/ビジネス文書技能検定
関連科目	医事業務実践アドバンスⅡA/医事業務実践アドバンスⅡC
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	鈴木　公美子
実務経験	○
実務内容	鎌倉女子大学/理事長・学長秘書/6年 調布学園/理事長秘書・法人本部書記/3年 秘書検定準1級 面接実施担当者/18年 サービス接遇検定準1級 面接実施担当者/13年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ホスピタリティの事例発表	授業の概要について 日常生活の中でのホスピタリティの事例発表
2	受付対応①	受付の窓口応対について
3	受付対応②	受付窓口応対実践
4	各種患者様の対応について①	小児患者の対応
5	各種患者様の対応について②	高齢者の対応
6	各種患者様の対応について③	認知症患者の対応
7	各種患者様の対応について④	視覚障がい、聴覚障がいなどの患者様対応について
8	まとめ	1回から7回のまとめ

9	会計での応対①	会計の応対について
10	会計での応対②	会計の応対の実践
11	社会人としての基本①	社会人として適切な言葉遣いについてと実践①
12	社会人としての基本②	社会人として適切な言葉遣いについてと実践②
13	社会人としての基本③	さまざまな患者様に合わせた話し方、声のトーンの工夫実践
14	期末テスト	期末テストの実施
15	前期の振り返り	前期のまとめ
16	受付応対③	入院のご案内・お見舞いの対応・死亡時の家族対応について
17	受付応対④	入院のご案内・お見舞いの対応・死亡時の家族対応実践
18	電話応対①	電話応対についてとその実践
19	電話応対②	伝言メモの取り方や取り次ぎ方についてとその実践 16回から19回までのまとめ
20	ご指摘（クレーム）対応①	ご指摘対応のポイントと、さまざまな患者様対応について
21	ご指摘（クレーム）対応②	ご指摘対応のポイントと、さまざまな患者様対応実践
22	社会人としての基本④	社会人としての指示の受け方、報告の仕方について
23	社会人としての基本⑤	出勤から退勤までの就業中のマナーについて
24	社会人としての基本⑥	社会人としての慶弔時の贈答マナーについて
25	社会人としての基本⑦	社会人としての葬儀のマナーについて
26	外国人患者の対応	外国人の患者様対応について
27	ケーススタディ①	シミュレーションまとめ①
28	ケーススタディ②	シミュレーションまとめ②
29	後期テスト	期末テストの実施
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医事業務実践アドバンスⅡC（医学的内容）		
必修選択	選択	（学則表記）	医事業務実践アドバンスⅡC		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	30
使用教材	新医療秘書医学シリーズ③臨床医学Ⅰ内科 新医療秘書医学シリーズ④臨床医学Ⅱ外科		出版社	建帛社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	現場に出たとき即戦力となるために必要な知識、技術を習得する
到達目標	医療現場で実践できるスキルと対応を行うことができる
評価基準	実践・発表40%、期末テスト30%、授業態度20%、小テスト10%
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	医事業務実践アドバンスⅡA/医事業務実践アドバンスⅡB/医療秘書検定特講
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	石井　聡子
実務経験	○
実務内容	医療法人明徳会 総合新川橋病院／臨床検査技師／15年 公益財団法人 神奈川県予防医学協会／臨床検査技師／6年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・オリエンテーション	授業内容、到達目標について コメディカル・医師・看護師との関わり方について
2	ベーシックCの振り返り	ベーシックCの振り返り
3	救急患者の応急処置について	激しい腹痛、嘔吐をした患者への対応（嘔吐物の処理方法、手順、必要物品）を学び、実践する
4		
5		来院時、待合室での出血を起こしたときの対応について学ぶ 眼科疾患の感染症対策について学ぶ
6		手足のしびれ・麻痺・頭痛時の対応方法について学ぶ 発熱外来の対応方法について学ぶ

7	外来患者への対応について	予約に遅れてきた患者、予約時間を間違えた患者、予約ミスによるクレームへの対応を学ぶ
8		初めて検査を受ける患者への対応、説明不足で迷惑をかけた患者への対応を学ぶ
9	救急患者への対応について②	救急車の呼び方、手順等を学ぶ エマージェンシーコールについて学ぶ
10		心肺蘇生（小児含む）を学ぶ
11		
12	期末テスト	これまでの復習テストを実施する
13	救急患者への対応について③	AEDの使用手順（小児含む）を学ぶ
14		
15		
16	入院患者への対応について	不安を訴える患者家族への対応について学ぶ
17		面会者への対応（個人情報等含む）について学ぶ
18	その他の対応について	院内の不手際に関するクレームへの対応について学ぶ
19	小テスト	これまでの復習テストを実施する
20	救急患者への対応について②	急性心筋梗塞、狭心症への対応（応急手当）について学ぶ
21		脳梗塞、くも膜下出血への対応（応急手当）について学ぶ
22	産科・婦人科患者への対応 について	妊娠初期、中期、後期への対応（妊娠期間による検査の種類、母性領域KYT等含む）について学ぶ
23		
24	新生児、小児患者への対応 について	新生児、小児の主要症状への対応について学ぶ
25		
26		予防接種の対応について学ぶ
27		新生児、小児の感染症への対応（潜伏期間、感染経路）について学ぶ
28		
29	期末テスト	これまでの復習テストを実施する
30	１年間の総復習	１年間の総復習を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コミュニケーション実践		
必修選択	選択	(学則表記)	コミュニケーション実践		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	コミュニケーション実践トレーニング (杉原桂・野呂幾久子・橋本ゆかり　著)		出版社	ナカニシヤ出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	病院職員として他職種とのコミュニケーション方法を身につける
到達目標	他者とのコミュニケーションの重要性を具体的に述べることができる 病院職員として、他職種とコミュニケーションを行うことができる
評価基準	ワークシート60%、シミュレーション20%、授業態度20%
認定条件	出席が掃除関数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	森平　晃太
実務経験	○
実務内容	ヒューマンアカデミー株式会社/心理学講師/5年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	信頼関係を築く(ラポール)①	話の聞き方について
3	信頼関係を築く(ラポール)②	ラポールを築くための３つの技法について ラポールと聴くことについて
4	見方を変えてみる(リフレーミング)①	パラダイムについて
5	見方を変えてみる(リフレーミング)②	リフレーミングについて
6	見方を変えてみる(リフレーミング)③	リフレーミングについて
7	それぞれが使っている感覚(VAK)①	あなたの表象システムについて
8	それぞれが使っている感覚(VAK)②	いろいろな感覚を身に付ける

9	それぞれが使っている感覚(VAK)③	ほかの人/身近な人の表象システムについて
10	それぞれが使っている感覚(VAK)④	表象システムは日常にどういかせるか
11	診療情報管理士シミュレーション①	医師に対してのコミュニケーション実践①
12	アイデンティティと価値観①	自分の名札について
13	アイデンティティと価値観②	アイデンティティについて
14	アイデンティティと価値観③	価値観について①
15	アイデンティティと価値観④	価値観について②
16	人それぞれの価値観(ビリーフ)①	前期振り返り 過去に決めた価値観について
17	人それぞれの価値観(ビリーフ)②	今あるさまざまな価値観について
18	人それぞれの価値観(ビリーフ)③	２種類の価値観について こんな価値観があったらいいな
19	診療情報管理士シミュレーション②	医師事務・医療事務に対してのコミュニケーション実践②
20	折れない心①	失敗は悪いこと？ ３種類の失敗について
21	折れない心②	ワーク こんなとき、あなたならどうする？
22	折れない心③	失敗後の分かれ道 レジリエンスの７つの階段について①脱出する
23	折れない心④	レジリエンスの７つの階段について②飼い慣らす
24	折れない心⑤	
25	折れない心⑥	レジリエンスの７つの階段について③自信をつける
26	折れない心⑦	レジリエンスの７つの階段について④長所を活かす レジリエンスの７つの階段について⑤サポーターをつくる
27	折れない心⑧	レジリエンスの７つの階段について⑥感謝の心をもつ
28	折れない心⑨	レジリエンスの７つの階段について⑦意味づけをする
29	診療情報管理士シミュレーション③	診療情報管理士に対してのコミュニケーション実践③
30	総まとめ	後期の振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医科医療事務Ⅲ		
必修選択	必修	（学則表記）	医科医療事務Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	レセプト請求の全技術 DPCの理解と演習 DPC点数早見表 早見表 診療点数早見表(点数表)		出版社	医学通信社 ユアサポート ケアアンドコミュニケーション	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	DPC算定と出来高算定を比較し診療報酬を学ぶ		
到達目標	認定試験に関わりのあるDPCの基礎知識を復習しつつ点数算定を行うことが出来る		
評価基準	評価テスト60%、提出物20%、授業態度20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	診療報酬請求事務能力認定試験/医療秘書技能検定		
関連科目	医事CP・DPC		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡邊　裕子	実務経験	○
実務内容	独立行政法人東京都病院機構多摩南部地域病院他系列病院、検診センター/医事課外来・庶務課・地域医療連携室等病院事務/25年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション DPC算定の基礎 第1章　入院医療に係る診断群分類	第1章　入院医療に係る診断群分類 §1.DPCとは～§3.対象患者
2	DPC算定の基礎 第1章　入院医療に係る診断群分類	第1章　入院医療に係る診断群分類 §4.包括評価の対象と出来高によるもの～§6.主要診断群（MDC）
3	DPC算定の基礎 第1章　入院医療に係る診断群分類	第1章　入院医療に係る診断群分類 §7.診断群分類番号の構成～§8.入院期間別係数
4	DPC算定の基礎 第1章　入院医療に係る診断群分類	第1章　入院医療に係る診断群分類 §9.請求のパターン～§10診療報酬明細書の記載要領
5	DPC算定演習 第3章　練習問題	第3章　練習問題　NO.1～
6	DPC算定演習 第3章　練習問題	第3章　練習問題
7	DPC算定演習 第3章　練習問題	第3章　練習問題

8	DPC算定演習 第3章　練習問題	第3章　練習問題　～NO.16
9	第5章　総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題　NO.1　　カルテからレセプト作成
10	第5章　総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題　NO.2　　カルテからレセプト作成
11	第5章　総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題　NO.3　　カルテからレセプト作成
12	第5章　総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題　NO.4　　カルテからレセプト作成
13	第5章　総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題　NO.5　　カルテからレセプト作成
14	評価テスト	出来高レセプト作成からDPCレセプト作成
15	まとめ	点数算定のまとめ DPC制度の概要と基本的な考え方の復習をする

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	医事ＣＰ・DPC		
必修選択	選択	（学則表記）	医事ＣＰ・ＤＰＣ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	電子カルテシステムの理解と演習 DPCの理解と演習		出版社	ケアアンドコミュニケーション	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	電子カルテの応用技術を習得する。 DPC入力全般の知識と技術を身に付ける。		
到達目標	電子カルテ検定の任意受験を目指す。 DPCの説明や算定、レセプト作成ができる。		
評価基準	テスト80%、授業態度20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	電子カルテ検定/医事コンピュータ技能検定		
関連科目	医科医療事務ⅠA/医科医療事務ⅠB/医事CP・電子カルテⅠ/医事CP・電子カルテⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	川嶋　静恵	実務経験	○
実務内容	新保クリニック/医療事務/8年 国立がん研究センター東病院/医師事務作業補助者・診療情報管理士/6年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	授業目的・計画説明	3年次の授業内容について 電子カルテ関連知識・入力
2	電子カルテ	電子カルテ関連知識・入力
3	電子カルテ	電子カルテ関連知識・入力
4	電子カルテ	電子カルテ関連知識・入力
5	電子カルテ	電子カルテ関連知識・入力
6	電子カルテ	電子カルテ関連知識・入力
7	電子カルテ	電子カルテ関連知識・入力
8	電子カルテ	電子カルテ　評価テスト実施
9	DPC（概要）	DPCとは DPCの理解と演習　第1章

10	DPC（概要）	DPCの理解と演習　第1章
11	DPC（算定）	DPCの理解と演習　第3章（包括評価部分記載練習） 操作方法の説明　　練習問題No.1
12	DPC（算定）	DPCの理解と演習　第3章（包括評価部分記載練習） 練習問題No.2-5
13	DPC（算定）	DPCの理解と演習　第3章（包括評価部分記載練習） 練習問題No.6-10
14	DPC（算定）	DPCの理解と演習　第3章（包括評価部分記載練習） 練習問題No.11-16
15	DPC（1章3章まとめ）	DPCの理解と演習　第１章　第3章　まとめテスト実施
16	DPC（応用）	DPCの理解と演習　第4章（DPC実際：レセプト作成）
17	DPC（応用）	DPCレセプト作成 DPCの理解と演習　第5章（DPC用レセプト作成出力）
18	DPC（応用）	DPCレセプト作成 DPCの理解と演習　第5章（DPC用レセプト作成出力）
19	DPC（応用）	DPCレセプト作成 DPCの理解と演習　第5章（DPC用レセプト作成出力）
20	DPC（応用）	DPCレセプト作成 DPCの理解と演習　第5章（DPC用レセプト作成出力）
21	DPC（応用）	DPCレセプト作成 DPCの理解と演習　第5章（DPC用レセプト作成出力）
22	DPC（応用）	DPCレセプト作成 DPCの理解と演習　第5章（DPC用レセプト作成出力）
23	DPCテスト	DPC　評価テスト①実施
24	DPC（様式1）	DPC様式1作成① 基本的な症例を入力
25	DPC（様式1）	DPC様式1作成② 分類・再入院等を入力
26	DPC（様式1）	DPC様式1作成③ 分類・再入院等を入力
27	DPC（総合）	DPCレセプト演習（準1級過去問題を使用）
28	DPC（総合）	DPCレセプト演習（準1級過去問題を使用）
29	DPC（総合）	DPCレセプト演習（準1級過去問題を使用）準１級問題を使用して、評価テスト②
30	全体まとめ	1年間の振り返り・まとめ